

中津川市上下水道だより

中津川市上下水道事業経営審議会の開催について

中津川市の上下水道事業の経営の健全化を目指し、今後の経営の在り方についてより広く市民の皆様からご意見をいただき、上下水道事業の経営に関する重要事項についてご審議いただくことを目的とした審議会です。

委員の定数は20人以内で、有識者、公共的団体等の推薦者、住民の代表者（市内各地区代表者等）で構成し、より公平に各地域からの声をいただける体制です。

●今回ご審議いただく内容

・水道事業

- ①水道事業のあり方について
- ②経営戦略の見直しについて

・下水道事業

- ①下水道事業のあり方について
- ②経営戦略の見直しについて

●開催の予定等

令和5年3月8日に第1回を開催し、19名の方に委員委嘱、市長から審議会へ諮問し、水道事業、下水道事業の現状と課題についてご説明しました。

今後は、令和6年3月に答申をいただくよう、5～6回程開催する予定です。

なお、前回の審議会は令和元年7月に第1回を開催し、途中コロナ禍による開催延期などを経て、令和3年3月に答申をいただきました。いただいた答申について、市の検討内容、進捗状況を第2回の審議会（令和5年8月17日開催）でご報告する予定です。

※審議内容は市ホームページなどでお知らせしていきます。

令和5年度当初予算の概要について

水道事業と下水道事業の令和5年度の主な予算概要を紹介します。

水道事業

・配水管耐震化事業

安全・安心な水を安定して供給するため、老朽管更新工事及び道路改良等に伴う水道管布設工事では、耐震管を使用します。

・浄水場浄水機能改善事業

山口原浄水場に急速ろ過機を設置します。

・リニア中央新幹線関連受託事業

リニア関連施設へ給水を行うための配水池・配管等の整備を順次行います。

・中津川駅周辺管路更新事業

中津川駅周辺市街地における老朽管更新工事（R4～R6年度）を実施します。

下水道事業

・下水道整備事業（坂本処理区）

リニア開業に向けて、駅周辺未整備エリアへ関連工事に併せ下水道整備を実施します。

・下水道施設長寿命化対策事業

令和4年度に策定したストックマネジメント計画（改築施設の優先順位をつけ計画的・効率的に管理する計画）に基づき、中津川市浄化管理センター施設内の耐震診断及び設備改築の実施設計を行います。

・処理場等改良事業

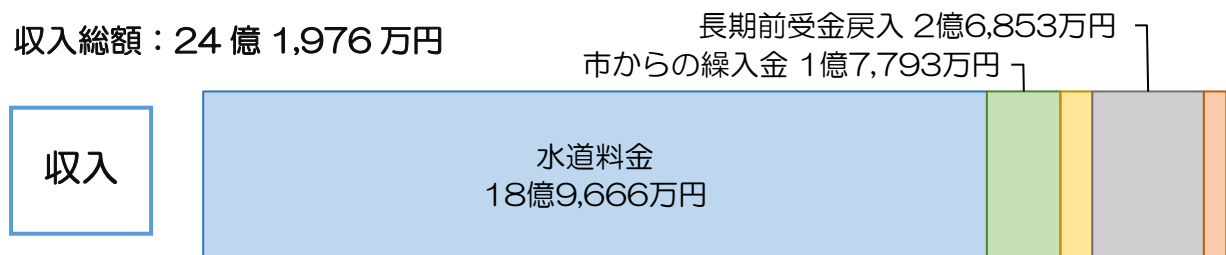
処理場やマンホールポンプの機械設備等の更新を行います。

水道事業

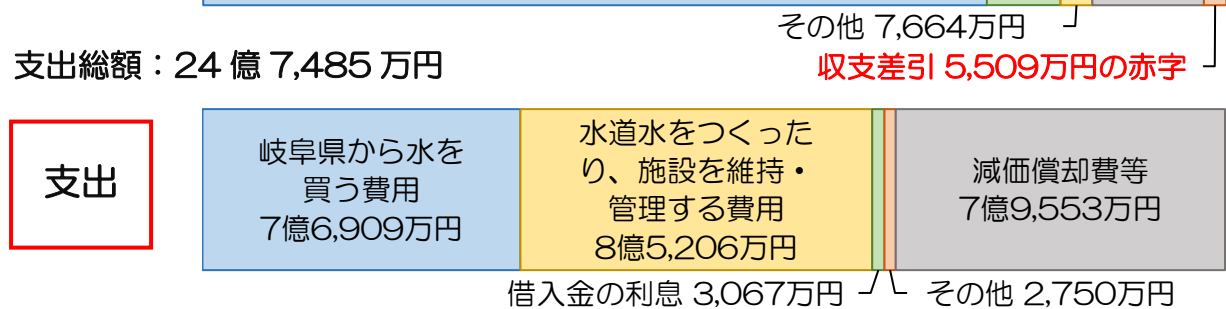
【☆収益的収支☆】

収益的収支とは…経営活動に伴い発生する収支を表します。

収入総額：24 億 1,976 万円



支出総額：24 億 7,485 万円



水道事業については、主に世界的なエネルギー価格高騰の影響で、水道施設にかかる動力費（電気料金）が大幅に増加したこと、不要となった施設の除却工事による費用が増加したことで、令和5年度は収益的収支差引が赤字となっています。

減価償却費と長期前受金戻入

減価償却費は、長期間にわたって使用される固定資産の取得に要した支出を、その資産が使用できる期間にわたって費用を配分したものです。

例えば、5千万円で管路を取得して50年間使用する場合、取得した翌年から50年間、年100万を費用として計上します。

長期前受金戻入は、減価償却費の対の考え方です。固定資産取得のための収入源に補助金などがあつた場合は、収益も同じ期間で配分します。

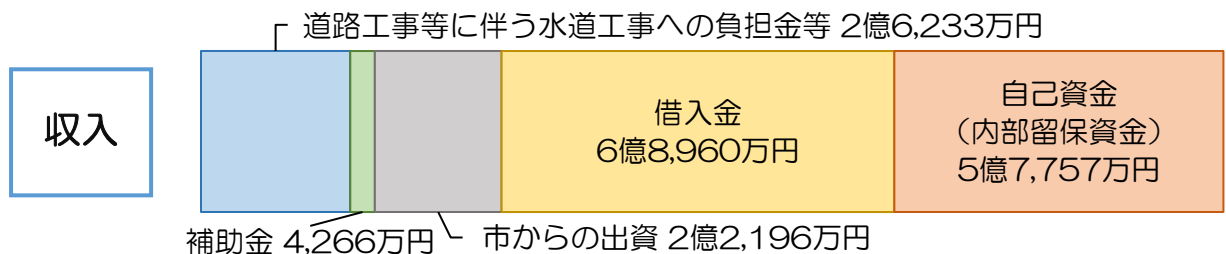
例えば、5千万円のうち1千万円の補助があつた場合、年20万を50年間収益として計上します。

○整備した年だけが負担増とならず、施設・設備を利用する世代間で均等に負担することができます。
○また、残っている費用を現在の資産価値として、施設の老朽化を調べる指標にもなります。

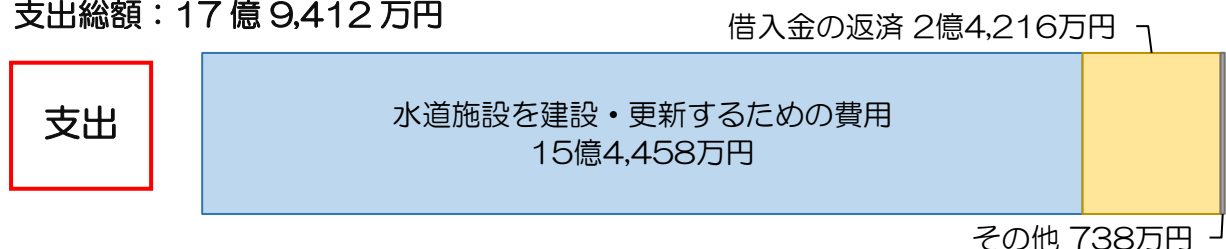
【★資本的収支★】

資本的収支とは…上下水道の施設・設備の整備に使用するための収支を表したものです。

収入総額：12 億 1,655 万円



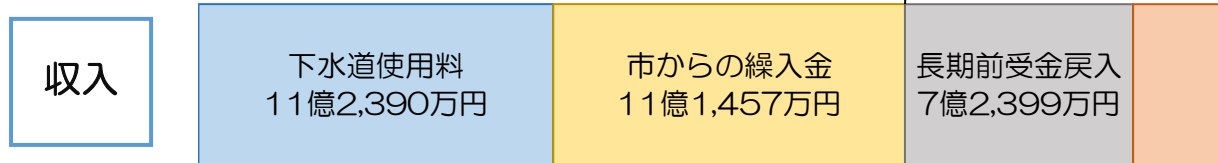
支出総額：17 億 9,412 万円



下水道事業

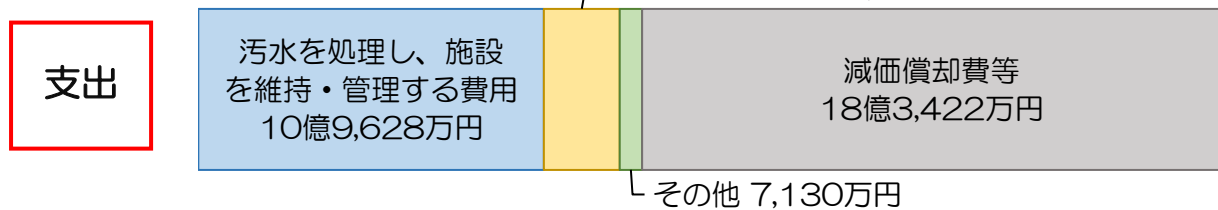
【☆収益的収支☆】

収入総額：29 億 6,285 万円



収支差引 2億7,813万円の赤字

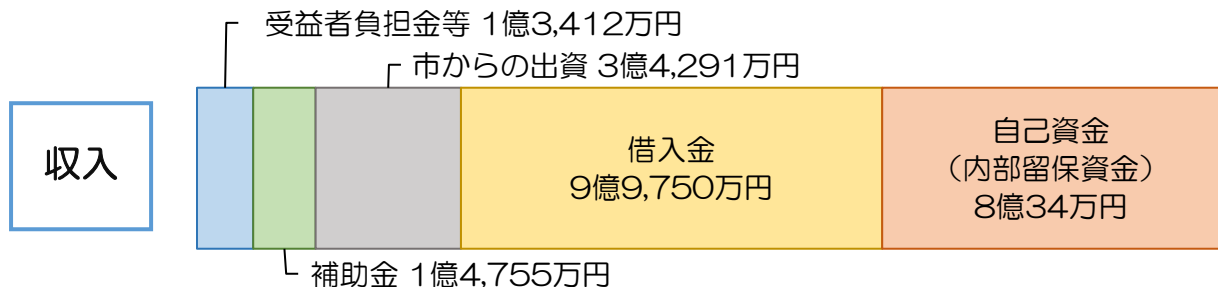
支出総額：32 億 4,098 万円



下水道事業についても、令和5年度は収益的収支差引が赤字となっています。
動力費（電気料金）のほか、物価高騰により薬品費等が増加する見込みであり、汚水処理にかかる費用が増加しています。他の費用を縮減して営業費用の増加を抑えています。

【★資本的収支★】

収入総額：16 億 2,208 万円



支出総額：24 億 2,242 万円



依然として厳しい経営状況が予想されますが、計画的な資金調達、経費削減に努めて参ります。

当初予算には、市の物価高騰対策の一つである水道料金改定の見送りに対する補てん財源として、150,000 千円の補助金（市からの繰入金）を計上しました。また、令和5年6月補正予算で水道事業、下水道事業の動力費高騰分に対して、水道事業で 35,575 千円、下水道事業で 55,087 千円の臨時的な補助金（市からの繰入金）を計上しました。

予算の詳細は、中津川市ホームページに掲載しています。▶



上下水道事業は、地方公営企業法に基づき、独立採算制（税金ではなく、水道料金や下水道使用料の収入）で運営されています。ただし、公共性の高い事業であるため、利潤第一で運営されることはありません。事業で得られる利益は将来の施設更新に充てられ、安定した水道水の供給、適切な汚水の処理を実現することで皆様に還元されます。

リニア開業に向けての施設整備や、安定した運営をするための管路の耐震化・施設の長寿命化事業などに多額の投資が必要になりますが、国などの補助事業を活用し、計画的な借入を行いながら、今後も安全・安心で持続可能な上下水道事業の運営に努めて参ります。

スマートフォン決済アプリが追加されました

中津川市では、上下水道使用料のお支払い方法の一つとして、納付書によるスマートフォン決済を導入しています。より多くの方にご利用いただけるよう、令和5年4月1日から対応するスマートフォン決済アプリを拡充しました。

●ご利用できるスマートフォン決済アプリ

- ・ PayPay 請求書払い, P a y B, ※ LINE Pay 請求書支払い

☆令和5年4月から追加されたアプリ

- ・ d払い 請求書払い, au PAY（請求書支払い）

●ご利用方法

上記スマートフォン決済アプリの請求書支払いサービスから、納付書に印字されたバーコードを読み取ることで、あらかじめ登録されている預金口座等から納付できます。詳しくは各支払いサービスからご確認ください。

※ LINE Pay のみ納付額が5万円未満のものに限ります。

それ以外は30万円以下のものに限ります。

その他ご利用条件はお手元の納付書、または市ホームページをご覧ください。▶



下水道マンホール紀行～その7～

中津川市で使用している下水道のマンホールふたのデザインには、市内各地区の花や木をはじめ、伝統や文化の香が漂うものなど、郷土色豊かなデザインが描かれています。今回は加子母地区のものを紹介します。

加子母地区マンホールふたデザイン▼

中央に淡いピンク色の「ささゆりの花」、周囲に緑の針葉樹「檜（ひのき）」がデザインされています。

「ささゆり」は村の花、「檜」は村の木として共に旧加子母村の条例に定められていました。

カラーふたでは、清流加子母川（白川水系加子母川）とその流れをイメージして、背景に青色と白色が使われています。

